

タイの工業団地について その1～バンコク中央部～



過去のレポート（Vol.7, Vol.8）でも工業団地について触れていますが、これから数回に分けて工業団地の詳細をエリアごとに説明します。

工業団地は、現在48か所（15県）に点在しており、バンコクの隣接県、パトム・タニー、サムット・プラカーン、サムット・サコーン、ナコン・パトム、ノンタブリには、1970年頃からタイ工業団地公社によって工業団地の整備が行われ、BOI（タイ投資委員会）などの後押しもあり、この時期は日系企業が多く進出した時期でもありました。また外資100%でタイへの進出が可能になった1985年から1992年頃は、円高の影響や海外へ生産拠点を求める動きが活発になり、日系企業によるバンコク周辺地域への進出が増加した時代でもあります。

以下が、日系企業が入居している主な工業団地です。

<バンコク中心部より北部地域>

バンカディ工業団地、ナワナコン工業団地、バンパイン工業団地、ハイテク工業団地、ロジャナ工業団地、サハラッタナナコン工業団地

<バンコク中心部より東部地域>

バンチャン工業団地、ラッカバン工業団地

<バンコク中心部より南東部地域>

バンプー工業団地、バンプリー工業団地、ウェルグロー工業団地、アマタナコン工業団地

＜バンコク中心部よりさらに南東部地域（チョンブリ県、ラヨン県、チャチュンサオ県）＞
ピントン工業団地、サハグループ工業団地、チョンブリ工業団地、レムチャバン工業団地、
サイアムイースタン工業団地、アマタシティ工業団地、ロジャナ（ラヨン）工業団地

以上の4つの地域とバンコク周辺に工業団地を区分し、今回はバンコク周辺の工業団地について紹介します。

【バンコク中央部の工業団地の特徴】

1 人口の集中

バンコクおよびバンコク周辺5県の人口は1,000万人以上で、人口密度の高い地域であり、経済水準も高くなっています。そのため、建設される工場数や投資数も多く、タイ全体の投資額の3割をこの地域が占めています。

2 インフラの整備が充実

バンコクから1～2時間以内に位置し、スワンナプーム空港、ドムアン空港、レムチャバン港、バンコク港などの主要物流拠点にも近く、主要拠点を結ぶ高速道路が十分に整備されており、物流面で時間とコストを抑えることが可能です。また、日本人はバンコクに住居を構える人が多いですが、通勤時間の短縮も可能なため時間を有効に活用できます。

3 雇用

バンコク周辺は、他の地域よりも物価が高いこともあり、給与も他の地域よりも高めです。また、多くの工業団地があることから従業員の要求レベルも高く、具体的には給与のベースアップ、職場環境の快適さの要求などが挙げられます。

給与については、同じ工業団地内での給与情報が従業員間で漏れ伝わり、大企業と中小企業の所得格差などがあるため、他社の給与と比較を行い転職を繰り返す従業員もいます。

職場環境については、福利厚生のさらなる充実を要求されることが多く、キャンテーン（食堂）のメニュー充実、定期的なレクリエーション（同僚社員との交流行事）の実施などの要求があります。

今回は、＜バンコク中心部より北部地域＞の工業団地の特徴をレポートいたします。

【岡山県タイビジネスサポートデスク】

<<日本国内デスク (株式会社アークビジネスサーチ内) >>

【所在地】: 東京都千代田区神田小川町 1-11-8 大竹ビル7階

【担当者】: 志賀 敦 (しが あつし)

<<タイ/バンコク現地デスク (ARK ENTERPRISE CO., LTD. 内) >>

【所在地】: 138 Boonmitr Bldg., 3rd Floor, Rm. A2, Silom Rd., Suriyawong, Bangrak
Bangkok, 10500 Thailand

【担当者】: 福田 淳 (ふくだ じゅん)

※デスクのご利用にあたっては、まず岡山県産業企画課マーケティング推進室
(086-226-7365)へご相談ください。